

	<h1>進取の気概</h1> <p>(校長室だより)</p>	<p>有田市立箕島中学校</p> <p>自主 友愛 剛健</p>	R3・9・30
			No. 34

季節それぞれの風景や色、香りなどを意識して感じ、楽しむことができる心や生活がより豊かで潤いのあるものになります。みなさんにはそんな感性豊かな人になってほしいと願っています。今回のテーマは「秋の虫たち」です。

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われます。まだまだ昼の間は残暑が厳しいですが、朝夕はめっきりと涼しくなってきました。いつの間にかセミの声も聞こえなくなり、今では秋の虫たちの声が聞こえてくるようになりました。


「虫時雨^{むししぐれ}」という言葉があります。たくさんの虫たちの鳴く声が重なり、雨のように降り注ぐようすを表しています。秋を表す言葉（季語）だそうです。これからの季節、秋が深まるにつれて、夜が長くなっていきます。たまにはテレビやスマホを消して、秋の虫の音^ねに耳を澄ましてみましょう。虫たちの音が折り重なり、優しい雨のようなとても繊細で美しい音色が聞こえてきます。その姿は草に隠れ、なかなか見ることができませんが、私たちのすぐ近くの草木や植え込みの中でも、ひっそりと秋の音を奏でています。秋の虫たちが奏でるオーケストラをBGMに、テスト勉強もはかどるかもしれませんよ。



「虫のこえ」

あれ松虫が、鳴いている
ちんちろちんちろ、ちんちろりん
あれ鈴虫も、鳴きだした
りんりんりんりん、りいんりん
秋の夜長(よなが)を、鳴き通す
ああおもしろい、虫のこえ

きりきりきりきり、こおろぎや
がちゃがちゃがちゃがちゃ、くつわ虫
あとから馬おい、おいついて
ちよんちよんちよんちよん、すいつちよん
秋の夜長を、鳴き通す
ああおもしろい、虫のこえ



耳を澄ますと様々な種類の虫の音が聞こえてきます。小さい頃に習った童謡「虫のこえ」。歌詞をヒントにそれぞれの声に耳を傾け、聴き分けてみるのも楽しいかもしれません。